



わだつみ



久留米市立荘島小学校

校長

うんどうかい
運動会スローガンどおりに

「創ろう！！ 荘島小の仲間と 心を一つに」

ちから あ ぜんりよく たたか
力を合わせてたくましく 全力で戦いました！

5月28日(土)、荘島小学校運動会を行いました。社会情勢を考慮し半日開催となりましたが、保護者の皆様の応援のおかげで、子ども達は元気いっぱい演技・競技に取り組みました。

6年生にとっては小学校生活最後の運動会でした。自分たちの種目だけでなく、練習の時から下学年をリードしたり、係の仕事を頑張ったりして、最高学年としての姿を見せてくれました。このよい伝統を受け継ぎ、下学年のみんなも成長していってくれることと思います。

赤・青の応援団長は開会式「誓いの言葉～150周年を祝う荘島小学校へのエール～」の中で「これからの未来は僕たちが創る！」と高らかに宣言してくれました。私達大人は、これからの50年、100年を生きる子ども達の一番の支援者でありたいと思ったところです。保護者の皆様、あたたかいご声援 ありがとうございます。

6月は1学期の折り返しです。残り2ヶ月をより充実させ、荘島小学校の子ども達は、益々たくましく成長していきます。





梅雨時の登下校～通学路での子どもの安全対策を考える～

まもなく全国的に梅雨の季節を迎えます。しばらくはどんよりしたお天気とのつきあいが続きますね。雨の日は、足元も視界も悪くなりますので、交通事故のリスクが高まります。また、傘で視界が遮られ、足元ばかりに注意が向いていると、不審者の接近に気づくのが遅れるおそれも。

そこで、本校では、5月12日（木）登下校の安全指導（防犯教室）を行いました。合い言葉「いかのおすし」はもちろんのこと、傘のさし方（①傘は体に近い位置でまっすぐに立てて持つ、②ときどき傘を高くあげて周囲の様子を確かめる、③人とすれ違うときは、相手とは反対側に傘を傾げる）についても話をしたところです。（雨の日ならではのリスクを理解させることも大切です。「いつもと同じように歩いていたら危ない」という自覚を持たせることが、雨の日の子どもの安全性を高めることにつながります。）

このところ登下校中の事件や事故が報じられています。雨の日はいつも以上に周囲への注意が不可欠です。



たくさんのプレゼントをいただきました！

（株）ムーンスター様より、児童に鉛筆（児童一人ひとりに配布済み）、風船（学校保管、授業で活用予定）、図書券（児童図書の購入予定）をいただきました。これは、コロナ禍になる前、試作品の靴を児童に履いてもらい、足の形を計測させてもらったことから続いているのだとか。大切に使用していきたいと思っております。